

基本計画から基本設計への変更点

	基本計画	基本設計（12/14現在）	
新校舎面積（校舎、屋内運動場、付属施設、学童保育）	12,190m ²	12,000m ²	共用部圧縮および特別教室の兼用化による減少
階数	4階	3階	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の見守り向上と上下移動のしやすさ ・子ども同士、地域住民との距離を近づける ・共用部面積を抑え、西側近隣の眺望に配慮
構造	1～4階 RC造（鉄筋コンクリート）	1階 RC造 2.3階 S造（鉄骨）	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤高さの違いによる土圧に対応する鉄筋コンクリート造と軽量化（杭、基礎躯体の縮減） ・工期短縮（人件費、児童生徒、近隣への負担を考慮）
メインアリーナ	1階から出入口	2階から出入口	緊急車両動線を考慮 天井高の変更
昇降口	児童昇降口、生徒昇降口2ヶ所	児童、生徒昇降口1ヶ所に集約化	職員室の横に昇降口を集約し、人の目によるセキュリティ対策をプラスするため
教室配置や特別教室の配置			設計会社と教育委員会事務局、施設マネジメント課との協議や共創スタジオ等での意見により変更
正門の位置	現中学校側の北側道路	プロムナード（南北に抜ける歩行者通路）内	子どもたちの通学の安全確保のため
空間構成	校舎中央に吹抜の明かりとりを計画	校舎中央に吹抜空間（×ディアフォレスト）を計画	基本計画時の階段教室と学校図書館を融合（全学年・地域の方々が一体となる場所、多様な居場所づくりのため）